

昭和工口

農村行進曲



西哉



その村では  
16歳になる娘は  
ある儀式を行わなければ  
ならない

今日は  
村の祭りだって  
いうのに

こき使うんだ  
もの……

今日は主役だもんな  
遅れないように  
しないと

頑張れよ!

ちよつと遅く  
なっちゃったー

とっさり





それにしても  
なにやらされるのかな  
.....

ミツは  
なにやれしても  
器用だし.....  
大丈夫だよ

ねえ次郎.....  
ちよつと見てきて  
くれない？  
もう最初の子たち  
はじまつてるはず  
だよな？

え！  
だって大人男子に  
ならないと絶対に  
見てはいけないし  
近づいてはいけに  
あ  
掬だろ？

お母さんも経験して  
きてるはずなのに  
教えてくれないし.....

何をするか  
わからないから  
不安なのよ

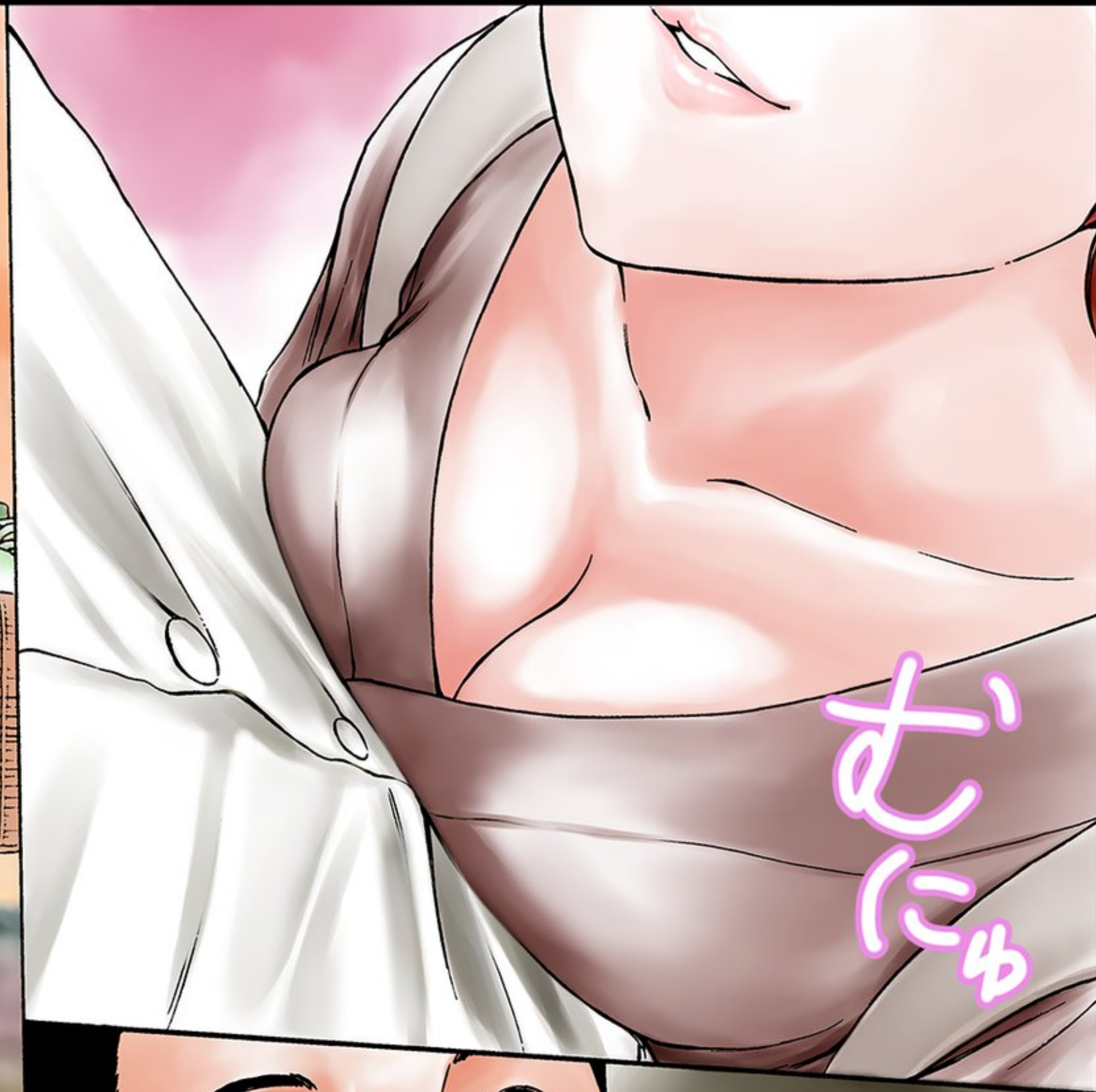
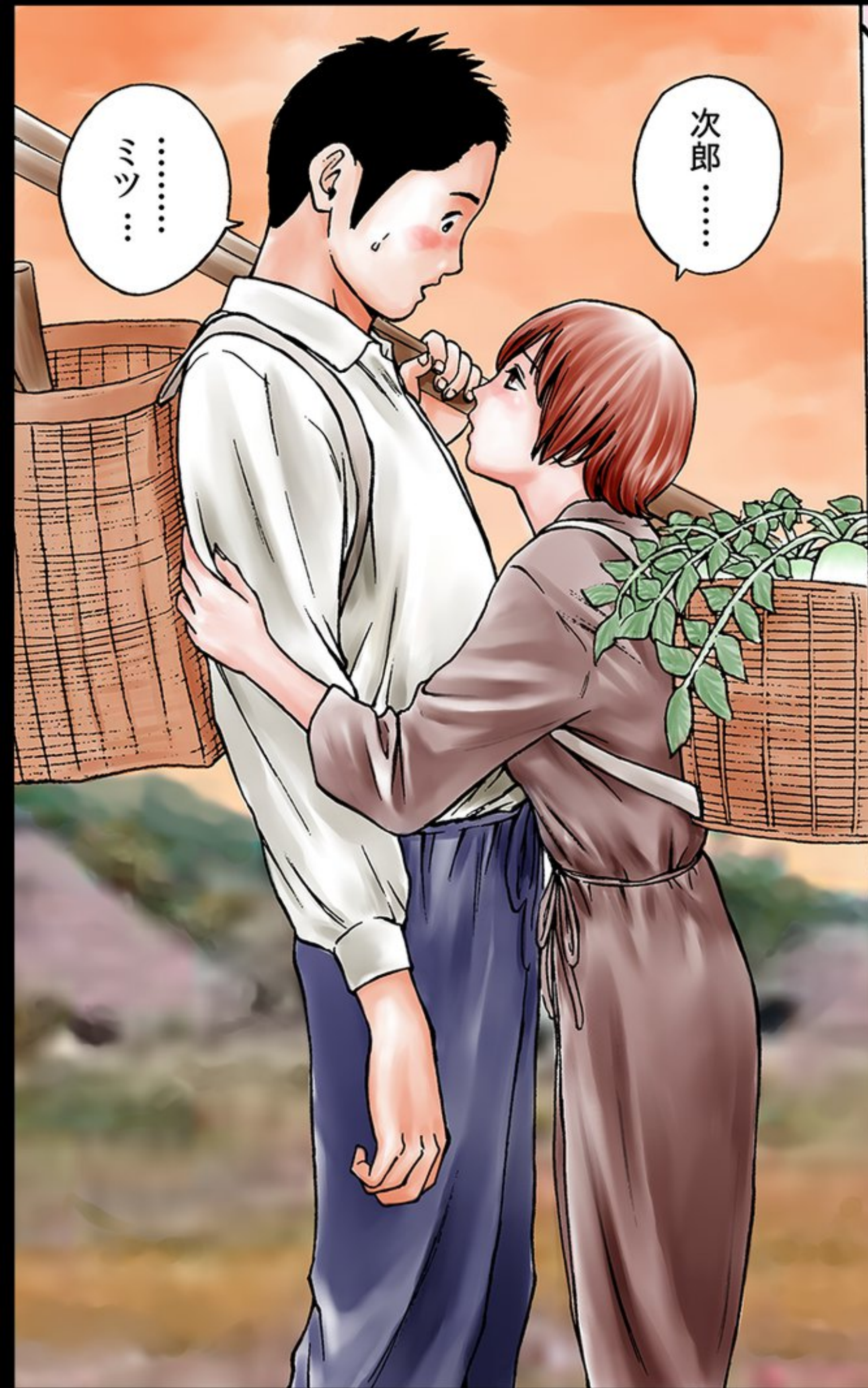
まいったなあ.....  
そりゃダメだって  
.....

ねえ次郎  
また口付けして  
あげる.....

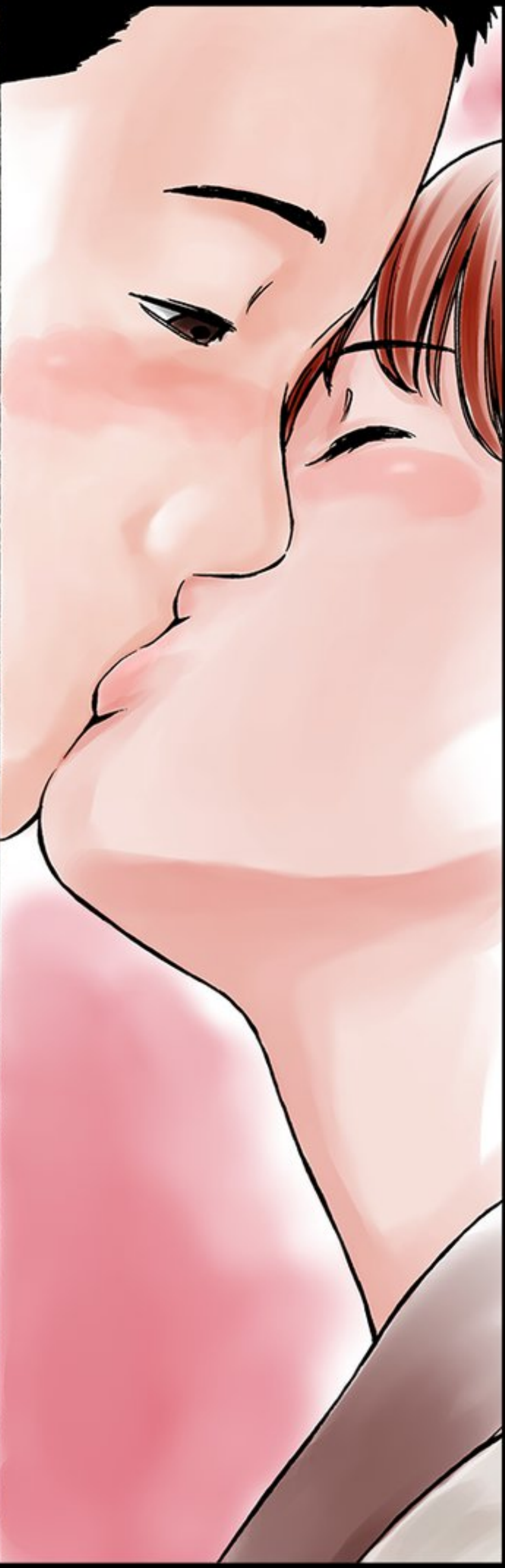
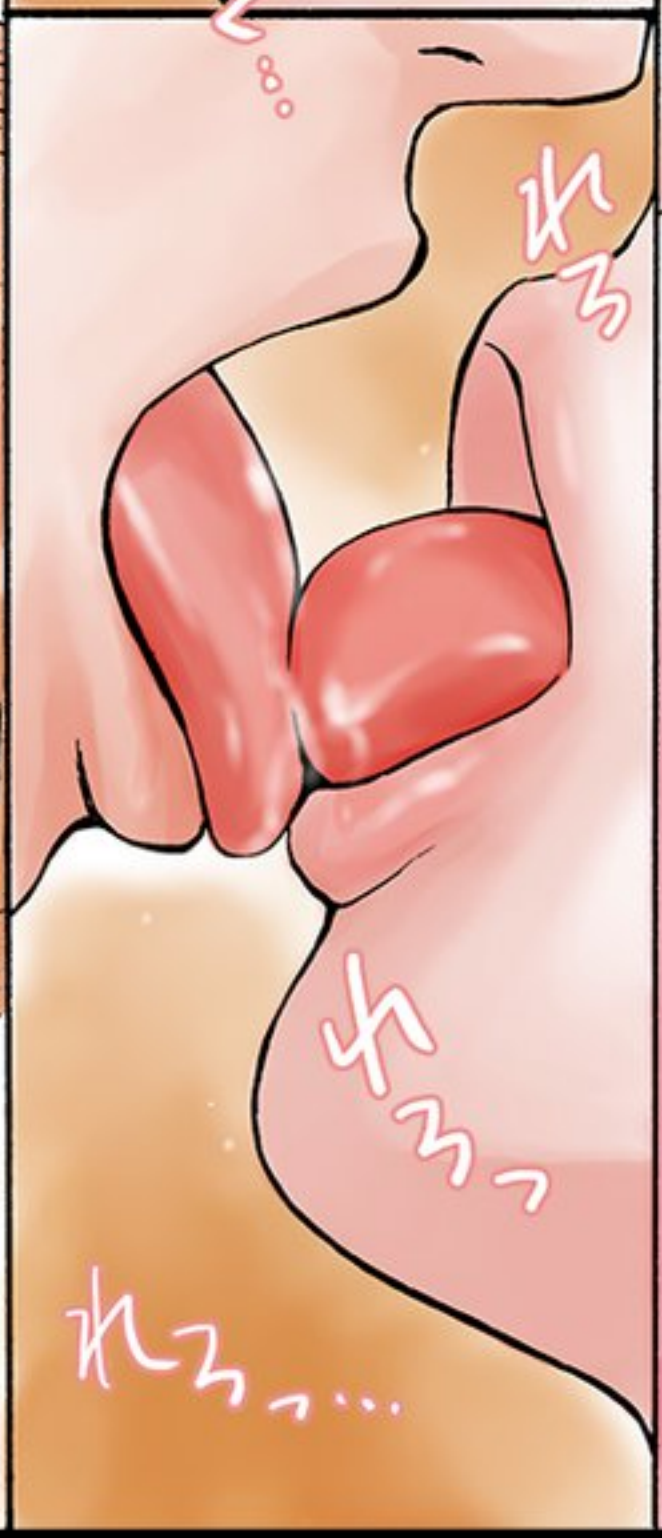
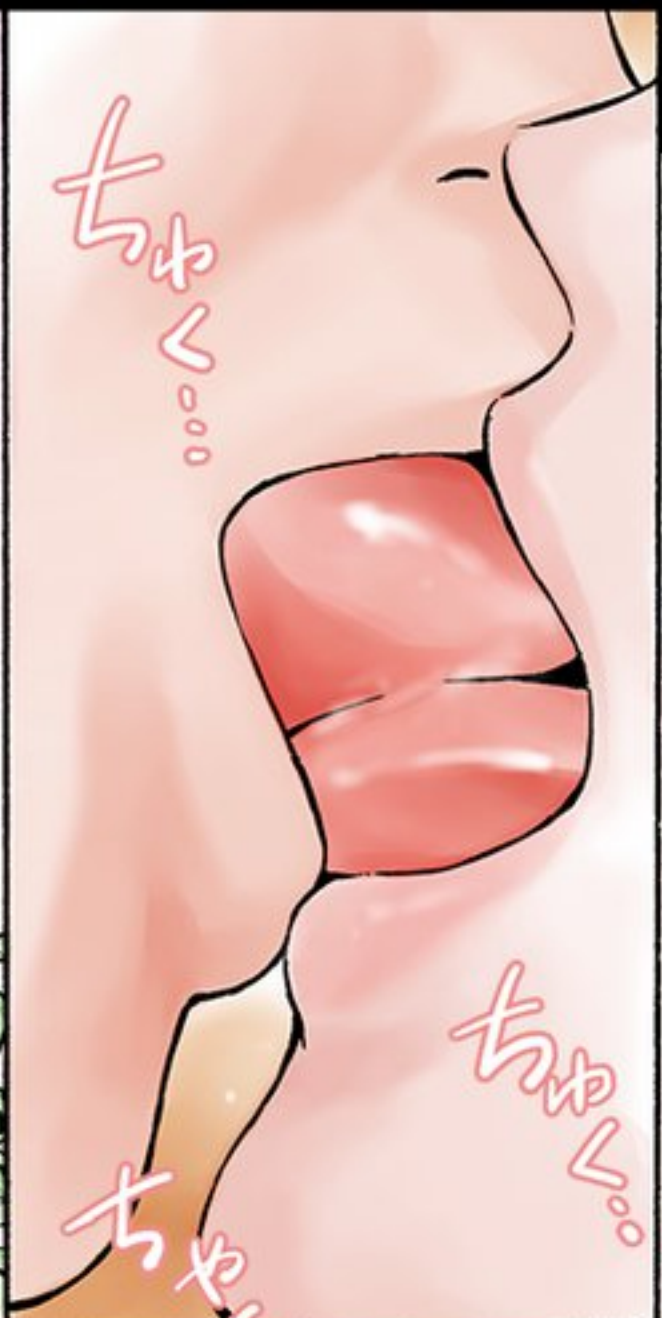
え？  
ここで？

もう村も近いし  
誰かに見られたら  
.....











**eternal**  
**BLACK∞LABEL**

本書の無断転載・複製等は、著作権法禁止されております。